

インクル曾根

平成 30 年 3 月 1 日発行
発行元 (社福) 北九州市手をつなぐ育成会
インクル曾根
発行責任者 村上 明美
北九州市小倉南区曾根北町 4-25
TEL : 093-474-1021 FAX : 093-474-1031

事業の基本方針

基本的な人権を尊重し、利用者一人ひとりのその人なりの人生を大切にします。
利用者一人ひとりの人間としての権利を守り、いかなる差別、虐待、人権侵害も許しません。
利用者一人ひとりの個性や主体性を尊重し、自己決定を基本とした支援を心がけます。
障害者が地域で豊かな市民生活を送れるよう、一人ひとりのニーズに添った支援を心がけます。
自己研鑽に努め、専門的な知識と技術と価値観を持って、良質なサービスを提供します。



今回の 1 面は、生活介護に在籍する『井口征享さん』を紹介します。

日々の活動では、ハンガーを使った活動を中心に、マッチングやプットイン、組み立てやパズル等のワーク活動を行っています。その他にも、地域清掃活動やスポーツレクリエーション等の身体を動かす活動にも積極的に参加しています。食べることと、お出かけ（ドライブ）が大好きで、時には職員の手を掴んでドライブに行きたい様子を見せてくれます。特に自然の景色が好きなようで、山など緑が多く見られる場所に行くと、手を叩きながら職員に嬉しさを伝えてくれます。

今後も健康に気をつけながら、多くの好きな活動に取り組んで欲しいと思います。

< 就労継続支援B型 > 一年間を振り返って・・・

就労継続支援B型は、生産活動を中心とした取り組みで利用者の安定を図りながら、高工賃を目指した事業の取り組みを行ってきました。利用者も環境に慣れ、目標を持って活動に取り組める一年になったのではないかと思います。生産活動以外にも、旅行、外出活動、地域の清掃活動など、多くの活動に取り組んだ一年となりました。

「一年間どうでしたか？」との質問に、Kさんは「仕事を頑張った！楽しかった！」と、Mさんは「一年間楽しかった。とくに旅行が楽しかった。一番の思い出はアイスクリームを作ったことです。」と、Tさんは「一番の思い出は、外で食事をしたこととカラオケに行ったことです。楽しかった。」と、皆さん笑顔で話してくれました。話を聞く中で多くの利用者が、頑張った仕事のこと、外出活動や旅行での楽しい活動ができたことが一番の思い出になったようです。

次年度も、生産活動を中心とした取り組みを行いながら、利用者が積極的に参加できるような活動を考え、飛躍した一年になるよう支援して行きます。



< 生活介護 > 一年間を振り返って・・・

生活介護では、個別支援に重点をおき、活動内容の充実を図った取り組みを行ってきました。

より利用者のニーズに寄り添った支援を行うため話し合いを重ね、新しい活動を取り入れながら、日々行っている活動の中からも、より本人の特性にあった支援ができるよう変化を加えながら取り組んできました。結果として、利用者の安定に繋がったのではないかと思います。利用者一人ひとりを見ても、昨年度行えなかった活動が行えるようになったり、継続することでできる事が増えた一年になったのではないのでしょうか。まだまだ課題は多くありますが、一つずつクリアする過程を大事にしながら、次年度も計画的に支援を行っていきます。



【編集後記】

2018年に入り早くも2ヶ月が過ぎ、あっという間に3月に入りました。今年度も残り1ヶ月となり、次年度の準備に向けて日々慌しくなってくると思います。しかし、忙しいときこそ十分な睡眠で体調管理に気をつけて行きたいと思います。また、丁寧な運転を心がけ事故を起こさないよう、職員間で声を掛け合いながら業務に邁進していきたいです。